

令和7年度 業務概要



初秋の岳岱自然観察教育林（令和6年10月撮影）

東北森林管理局
藤里森林生態系保全センター

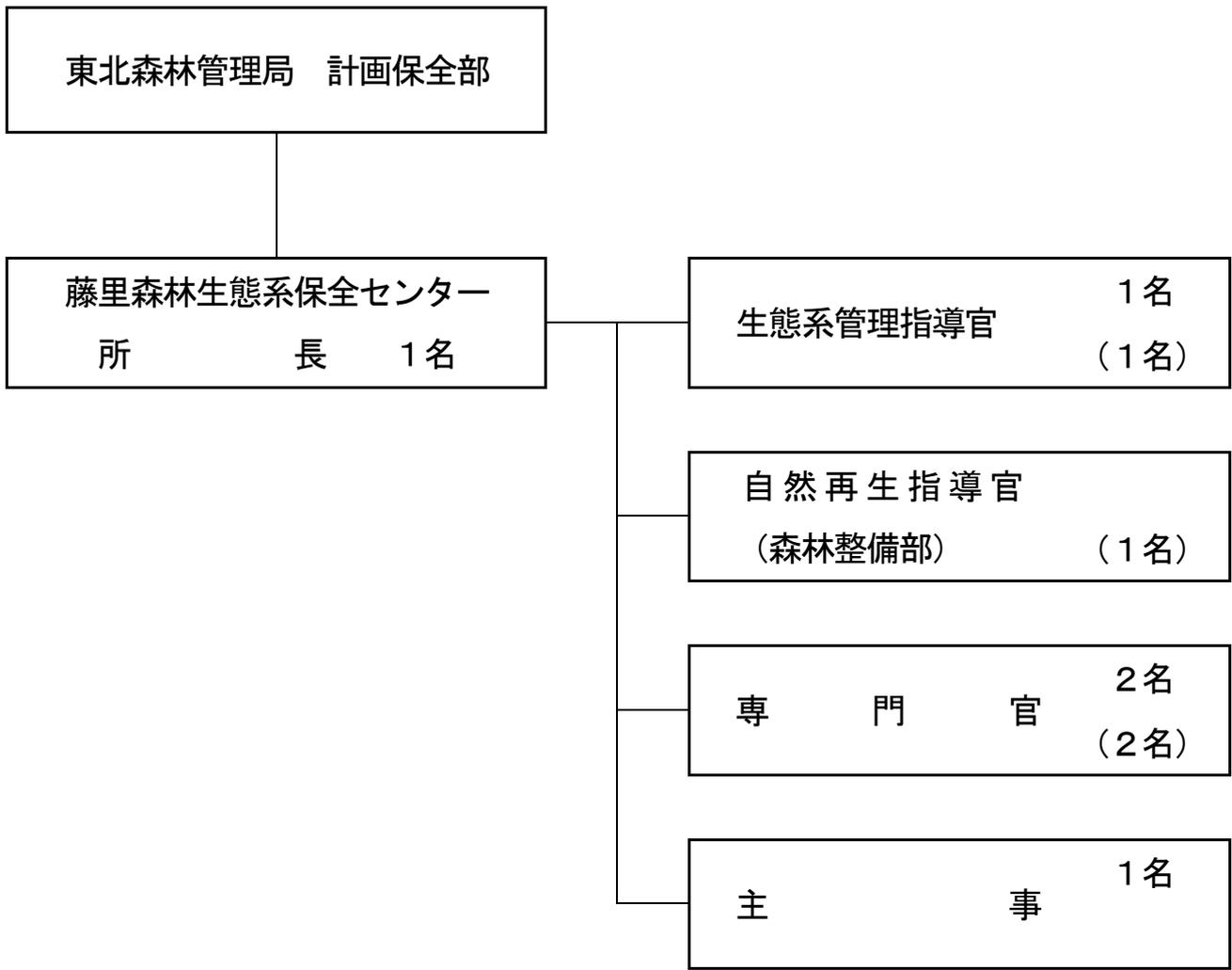
TEL 0185-79-1003

E-mail t_fujisato@rinya.maff.go.jp

HP <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/index.html>

組 織 図

(令和7年4月1日現在)



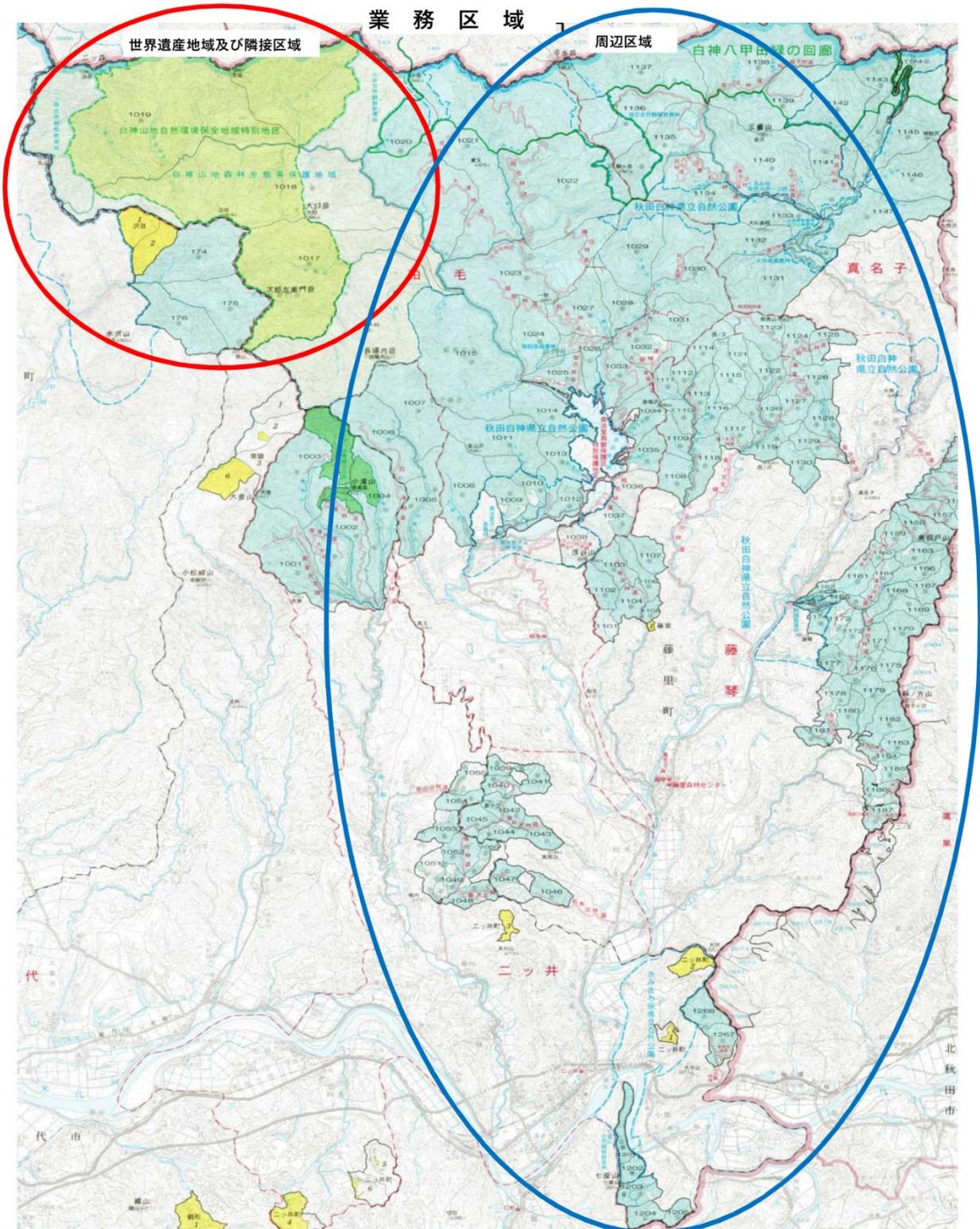
職員合計 5名

※ () は定員数

業務対象地域の紹介

1 業務対象区域

白神山地森林生態系保護地域【白神山地世界遺産地域（以下「遺産地域」という。）】及び同周辺地域を業務対象区域としています。（能代市・八峰町・藤里町）



2 業務対象区域の保護林、レクリエーションの森等

(1) 保護林

◎白神山地森林生態系保護地域（遺産地域）16,971ha（うち秋田県側 4,344ha）



小岳山頂付近から核心地域



核心地域のブナ林

<参考>

「白神八甲田緑の回廊」は、保護林同士を連結して、連続した自然林を回復することにより、本来生息・生育する野生動植物の広域的なつながりを確保し、分断された個体群の相互交流、生物多様性の保全に資することを目指しています。白神山地森林生態系保護地域から、青森県と秋田県境の分水嶺沿いに約2kmの幅で十和田湖周辺まで、津軽署・三八上北署・米代東部署・米代西部署にまたがり設定し、面積は約22,000ha、そのうち保護林が約18,000ha、米代西部署管内は12,504haが指定されています。

(2) レクリエーションの森(レク森) 等

① レク森

面積：ha

自然観察教育林		森林スポーツ林		風致探勝林	
名称	面積	名称	面積	名称	面積
だけたい 岳 岱	11.78	くるみ台	4.22	がろう 峨 籠	17.23
ニツ森	334.35	—		だいらきょう 太良峡	51.31
小岳	281.15	—		—	
ななくらさん 七座山	98.50	—		—	



岳岱自然観察教育林



多目的展示施設

藤里森林生態系保全センターでは、岳岱自然観察教育林の多目的展示施設の維持管理を行っています。施設内には、休憩や昼食等で使用できるよう丸太イスとスギのテーブル、岳岱自然観察教育林の案内図、パンフレット、岳岱及び白神山地のジオラマ等を設置し紹介するとともに、スケッチブックや雑記帳を置いて、訪問者が自由に思い出や感想、意見が記帳出来るようにしています。記帳内容については、巡視の際に確認し、皆様のご意見やご感想を業務の参考とさせていただきます。

② 県立自然公園

ア 秋田白神県立自然公園

県立自然公園の再編により平成16年8月に指定。従来から指定されていたきみまち阪県立自然公園と八森岩館県立自然公園の一部を分割して設定されました。

藤里町では小岳、藤里駒ヶ岳、田苗代湿原^{たなしろ}、峨籠大滝^{がろう}、太良峡^{だいらきょう}、釣瓶落峠^{つるべおとし}、素波里湖^{すばり}が含まれ、八峰町には真瀬岳、水沢山、真瀬溪谷などが含まれます。

イ きみまち阪県立自然公園

昭和39年7月に指定。きみまち阪を中心とする一帯599haが指定されています。七座山自然観察教育林も含まれます。



田苗代湿原のニッコウキスゲ



七座山（展望台より）

業務内容の紹介

1 白神山地世界遺産地域及び周辺に関する業務

(1) 巡視活動

藤里森林生態系保全センターの職員による巡視活動は、遺産地域とその周辺の動植物など自然環境の把握を中心に行っていますが、ナラ枯れ等の森林病虫害による被害状況の確認についても巡視活動を通じて行っています。また、巡視の際は、登山者等へ入山における注意事項などを指導し、遺産地域の保護意識の普及啓発に努めています。

巡視にあたっては、職員のほか、民間ボランティアとして「白神山地世界遺産地域巡視員」を東北森林管理局長が委嘱し巡視活動を実施していただいています。

① 合同パトロール

白神山地世界遺産地域連絡会議構成機関の職員及び各構成機関で委嘱等をしている巡視員の方々により、登山者等に対する入山ルールへの啓発指導、違法行為や標識類の状況を確認するため、合同パトロールを実施しています。



登山者啓発活動（八峰町ニツ森登山口）



合同パトロール（小岳山頂付近）

② 巡視管理棟の保守管理

白神山地世界遺産地域巡視員（ボランティア）の方々などの巡視の拠点や、登山者の休憩施設などとして活用してもらうため設置した巡視管理棟（小岳、水沢、ニツ森）の保守点検（施設の異常の有無の点検、ボルトの締め付け、雑記帳の点検、清掃、備付用具類の点検など）を行っています。

また、積雪により窓ガラス等が損傷しないよう、晩秋には雪囲いを行い、翌年春に開放しています。

注：令和5年7月豪雨災害により、水沢とニツ森には現在アクセスできません。



水沢巡視棟

③ 白神山地世界遺産地域巡視員会議の開催

東北森林管理局では、巡視員及び環境省や県、地元市町等と連携を図りながら、地域と一体となった巡視活動を展開し、遺産地域の保安全管理に努めています。こうした巡視活動等における意見・情報交換を行い、今後の巡視活動に役立たせるため、年2回、巡視員会議を実施しています。



令和6年度巡視員会議

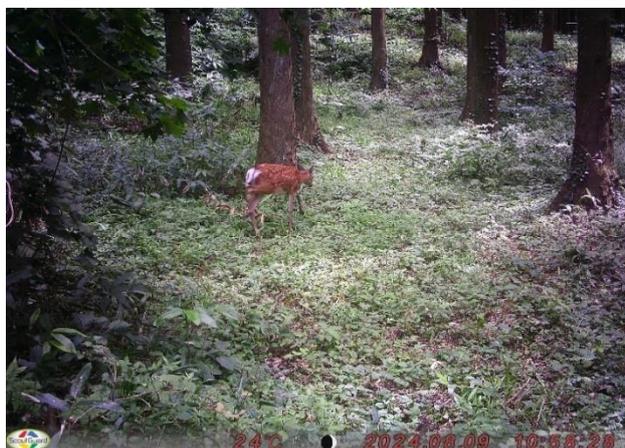
(2) 各種調査等

① 原生的ブナ林の長期変動調査

遺産地域のブナ林内に固定調査区を選定し、寒冷・多雪な気候下にある原生的なブナ林の長期的な変動を明らかにするため、また、自然環境の変化等を的確に察知し遺産地域の順応的管理に資する観点から基礎データの収集を行うため、モニタリング調査を毎年実施しています。

② 中・大型哺乳類調査

白神山地世界遺産地域連絡会議で策定された「白神山地世界遺産地域モニタリング計画」に基づき、「ブナ林における動植物の多様性が適切に保護されていること。」をモニタリングするため、遺産地域の周辺地域において、中・大型哺乳類の生息状況把握のセンサーカメラによる定点調査を実施しています。この調査では、遺産地域周辺で森林生態系に大きな影響を及ぼす可能性があるニホンジカの目撃情報が相次いだことから、平成26年度からニホンジカの生息状況についても併せて調査しています。



ニホンジカ (R6. 8月撮影)



イノシシ (R6. 6月撮影)

令和6年度は5月から11月まで、センサーカメラを27台設置し生息状況等を調査しています。また、冬期間においては、ニホンジカの越冬地調査のためセンサーカメラを国有林に2台、民有林には八峰町との連携により4台設置し越冬状況の調査をしています。得られたデータは、白神山地世界遺産地域科学委員会に提供するなど、今後のニホンジカ対策に役立てます。

③ モニタリング調査の実施（苗代湿原）

田苗代湿原は、春はミズバショウ、夏はニッコウキスゲが咲き乱れる美しい湿原ですが、乾燥化による植生の遷移を把握するため、地上からと、ドローンを使用して上空からも定点撮影を実施しています。



ドローンによる第2湿原（令和5年6月）



ドローンによる第2湿原（令和6年6月）

④ マツノクロホシハバチによる食害調査

世界遺産緩衝地域に隣接する小岳には、通常より標高の低い位置に自生している貴重なハイマツ林植生があり、過去にマツノクロホシハバチによる食害が発生したことから毎年、被害の調査を行っています。



令和6年度 食害の確認なし



ハイマツの群生（10月）

2 森林環境教育

① 森林環境教育の支援

白神山地の生態系保護や森林・林業の普及啓発を図るため、地方公共団体及び教育機関等からの要請を受け、藤里森林生態系保全センター研修棟での展示室や実習室を活用した森林教室や木工クラフト、岳岱自然観察教育林等での自然観察会など森林環境教育を支援しています。

<令和6年度実績>

実施内容	対象者	人数	実施場所
地域探訪・森林の保全	藤里学園 7 年生	15	藤里森林生態系保全センター 研修棟
植林体験	能代高校二ツ井キャンパス 1・3年生	47	藤里町粕毛私有地
ニホンジカの被害	能代高校生	3	藤里森林生態系保全センター 研修棟
まち自慢クラブ、白神講座	藤里町社会福祉協議会	7	藤里森林生態系保全センター 研修棟
パネル展示、缶バッジ製作	藤里町民ほか	—	藤里町体育館



藤里学園総合学習



能代高校二ツ井キャンパス植林体験

② 藤里森林生態系保全センター研修棟の紹介

ア 展示室

展示室では、白神山地の紹介や森林環境教育を目的として、樹木の標本や写真で見る草花、昔の林業風景、センサーカメラで撮影された動物たちなど、多岐にわたる写真を展示しています。

園児から大人まで、目的とテーマに対応した森林環境教育が可能となっています。

イ 実習室

実習室では、木エクラフト体験ができるように工具類やクラフト材料を用意しています。材料は小枝や、枝の輪切り、ホオノキの実、松ぼっくりなどのほか、飾り付け用の小物も用意しています。

また、森林環境教育の思い出として缶バッチの作成もできます。



展示室



さまざまな木の標本



昔の林業風景と林業機械



センサーカメラに写った動物たち

3 広報活動

藤里森林生態系保全センターの業務紹介のほか、巡視員やガイド協会等からの寄稿により、広報誌「白神通」を発行しています。また、藤里森林生態系保全センターWebサイトでも、業務紹介や白神山地に関する情報やお知らせ、「白神通」の掲載など情報発信に努めています。

URL <http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>

白神通



早春の藤里駒ヶ岳を望む (2025.3.10 藤里町 藤琴橋より撮影)

[contents]

- ◆令和6年度第2回白神山地世界遺産地域合同パトロール(秋田県側)・・・P2
- ◆小岳マツノクロシハバチ調査・・・P3
- ◆令和6年度第2回白神山地世界遺産地域巡視員会議(秋田県側)・・・P4
- ◆中・大型哺乳類調査用センサーカメラのデータ回収・・・P5
- ◆能代山本地区のニホンジカについて学ぶ・・・P6
- ◆まち自慢講座で白神山地を学ぶ(藤里町社会福祉協議会)・・・P7
- ◆藤里町民祭2024への出展・・・P8

藤里森林生態系保全センター 令和7年3月27日 No.111

No.111号表紙(令和7年3月27日号)

東北森林管理局



ホーム > 森林管理署等の所在について > 藤里森林生態系保全センター

藤里森林生態系保全センター



業務紹介

センター概要

【詳細版】令和6年度業務概要(PDF:4,366KB)

広報誌「白神通」(令和6年9月20日更新)

中・大型哺乳類モニタリング調査

センサーカメラに写った動物たち

白神山地世界遺産地域合同パトロール(秋田県側)

白神山地巡視記録

巡視中に出会った生き物たち

森林環境教育の支援

森林環境教育の支援の取組紹介

木工クラフトがしたい!

GO to 展示室

Webサイトトップページ

令和6年度第2回白神山地 世界遺産地域合同パトロール

令和6年9月7日(土)、白神山地世界遺産地域巡視員ほか関係機関による、合同パトロールが、小岳登山道において実施されました。当日は巡視員、環境省、秋田県、東北森林管理局職員など26名でのパトロールとなりました。

登山日和の晴天の中実施したパトロールでは、登山道及び遺産地域への不法投棄や樹木の損傷などのマナー違反は確認されませんでした。また、パトロール中に出会った登山客の方にマナー啓発のパンフレットを配布しました。

今後も、白神山地世界遺産地域の豊かな生態系を管理し、来訪して下さる皆様のためにも、合同パトロール及び、日常における巡視を継続してまいります。

小岳山頂からの岩木山



小岳山頂からの白神山地核心地域



慎重に下山...



下山後の意見交換会



No.111号掲載記事(令和7年3月27日号)

東北森林管理局



ホーム > 森林管理署等の所在について > 藤里森林生態系保全センター > センサーカメラに写った動物たち

センサーカメラに写った動物たち

藤里森林生態系保全センターでは、白神山地森林生態系保護地域及び周辺地域の安全管理の一環として哺乳類のモニタリング調査のため、藤里町や八幡町等の国有林にセンサーカメラを30カ所取り付けて自動撮影をしています。以下センサーカメラに写った哺乳類を回数の多い順で紹介いたします。

モニタリング調査の報告はこちら > 中・大型哺乳類モニタリング調査

ホンドタヌキ

- ・体長50～70cm、体重3～9kg、寿命5～8年
- ・夕張半の中間は東アジアに分布していて、日本には北海道に生息するエゾタヌキと青森以南に生息するホンドタヌキの2種がいる。
- ・暑いの時はやせて見えるが、冬毛の時は湯満などで見るように太って見える。
- ・主に夜行性で行動しており、雑食性で果実、木の皮、昆虫、カエルなどを食べる。
- ・寝たまま死んだら(ため息入り)とする。
- ・別名はむじなと呼ばれ、自力で穴を掘れないためアナグマの巣を使うことから、「同じ穴のむじな」とことわざがある。



ハクビシン

- ・体長約50cm、体重約4kg。
- ・長い鬃が毛種が決か濃度があつたが、DNA分析の結果、台湾から日本に東たと判明した。

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/kyo/huzisato/zyouhou/220624.html>

Webサイトページ一例

組織の経緯

昭和 4年 5月	荷上場営林署から分割、藤琴営林署設置。
昭和31年 6月	藤里営林署に改称。
昭和50年代後半	春秋林道建設反対運動起こる。
平成 2年 3月	白神山地森林生態系保護地域を設定。
平成 5年12月	世界遺産委員会が白神山地を世界遺産に登録決定。
平成 7年 3月	藤里営林署とニツ井営林署を統合しニツ井営林署。 秋田営林局指導普及課の内部組織として藤里森林センターを設置。 庁舎は、旧藤里営林署庁舎を使用。
平成 8年11月	小岳に巡視棟が完成。
平成 9年 4月	藤里森林センターの一般会計移替。
平成 9年11月	水沢に巡視棟が完成。
平成10年11月	ニツ森に巡視棟が完成。
平成11年 3月	秋田営林局が東北森林管理局に組織再編。 能代営林署、ニツ井営林署、五城目営林署を米代西部森林管理署に組織再編し、 ニツ井事務所、五城目事務所を設置。
平成13年 8月	ニツ井事務所・五城目事務所の廃止。
平成13年12月	藤里森林センター事務所棟の新築移転。
平成14年12月	事務所棟の隣に研修棟を新築。
平成15年12月	岳岱自然観察教育林の歩道整備と多目的展示施設を設置。
平成25年 4月	組織再編に伴い、藤里森林生態系保全センターに名称変更。



藤里森林生態系保全センター
Web サイトトップページ
QR コードはコチラ ↓



東北森林管理局広報
「みどりの東北」
QR コードはコチラ ↓



東北森林管理局
ホームページ
QR コードはコチラ ↓

